

2026年1月16日

各 位

会 社 名 共英製鋼株式会社
 代表者名 代表取締役社長 坂本 尚吾
 (コード番号:5440 東証プライム)
 問合せ先 執行役員本社経営企画部長 増田 晶紀
 (TEL: 06-6346-5222)

(開示事項の経過) 米国拠点における設備投資計画の一部変更に関するお知らせ

当社は、2025年1月31日に発表しました米国拠点で当社連結子会社である Vinton Steel LLC (以下「ビントン・スチール社」といいます。)の製鋼工場の新設および圧延工場設備の大幅改造に関する設備投資計画につきまして、内容を一部変更し、生産能力を年産36万ネットトン^{※1}に増強することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 設備投資の変更内容

当社は、中期経営計画「NeXuS II 2026」(2024～2026年度)において、海外鉄鋼事業、特に「北米事業の強化」に向けた施策を進めており、設備の老朽化が課題であったビントン・スチール社について、製鋼工場の新設および圧延工場設備の大幅改造を行うことで、生産性向上等による収益改善・安定化を図ることとしていました。

このたび、さらなる生産効率向上および生産能力増強を目的として、一部設備の追加ならびに仕様の見直しを行いました。また、インフレや資材・工事単価の上昇、米国における相互関税の影響などを反映した結果、前回公表額を上回る投資額となりました。これにより、投資総額は72百万米ドル増加し、327百万ドルとなる見通しです。なお、設備投資資金は、自己資金、銀行借入、米国テキサス州政府のIRB(産業歳入債)等を組み合わせ、最適な資金調達方法を検討してまいります。

本設備投資は、中期経営計画で公表している北米戦略投資総額600億円の範囲内で実施するものです。

2. 設備投資計画の概要

- ① 設備投資：(1) 製鋼工場新設 (Tenova 社製)
 (2) 既存圧延設備 大幅改造 (Pomini Long Rolling Mills 社製)
 なお、設計・エンジニアリングは Techint E&C 社にて行う
- ② 生産能力：製鋼設備 36万ネットトン/年(前回発表比 +3万ネットトン)
 圧延設備 36万ネットトン/年(前回発表比 +4万ネットトン)
- ③ 投資総額：327百万米ドル
- ④ 生産品目：鉄筋棒鋼、鉄球用丸鋼

3. 今後の予定

- ① 建設工事開始：2026年4月
- ② 新製鋼工場の稼働開始：2027年3月
- ③ 新ラインで一貫商業生産開始：2027年10月

※なお、基礎工事等については予定通り進捗しています

4. 当該会社の概要

名 称 : Vinton Steel LLC

所 在 地 : 米国テキサス州

代 表 者 : 社長 梶 浩一郎

事業内容 : 鋼材の製造・販売 (鉄筋棒鋼、鉄球用丸鋼)

資 本 金 : 48 百万米ドル

設立年月 : 1962 年 (共英製鋼株式会社による子会社化は 2016 年)

出資比率 : KYOEI STEEL America LLC^{※2} 100%

5. 今後の見通し

本件が今期の当社グループの連結業績に与える影響はありません。なお、業績予想を修正する場合は速やかに開示いたします。

^{※1} ネットトン : 約 0.907 メトリックトン

^{※2} KYOEI STEEL America LLC は、当社が 100%出資する米国での鉄鋼事業統括会社です

以上